

【様式第 4 号】

令和 7 年度 保土ヶ谷区障害者地域自立支援協議会 まちで暮らすネットワーク部会 ワーキンググループ 第 2 回 議事録	
日 時	令和 7 年 7 月 1 7 日 (木) 1 7 : 0 0 ~ 1 8 : 3 0
開催場所	保土ヶ谷区基幹相談支援センター 会議室
出席者	夢 21 ホーム、恵和青年寮、十愛病院、基幹相談 2 名(※書記)、夢 21 (保土ヶ谷区 自立協 代表) 【オブザーバー】神奈川新聞記者
欠席者	無
開催形態	公開 (傍聴人: 名) ・ <u>非公開</u>
議 題	1) 前回会議の振り返り ・ 第 1 回 WG 会議の議事録をもとに、1 事例を強度行動障害 WG で考えていきましようと言う話が出ていたと、振り返り。 2) 自立支援協議会・代表より、協議会からのお願い ● 強度行動障害に関する情報の「棚おろし」や課題提示に対して、協議会の企画があった時に協力をお願いしたい。 ● 具体的には、全体会や担当者会議、各部会の事例検討やワークショップ、発表、勉強会などの場においての協力を期待している。 ● 大目標として、強度行動障害に関わる支援者の底上げ、これから関わろうとしている人を応援したり、人と人をつなぎたい。 ● 主体的に人(支援者や事業所、関係機関)を巻き込めると良いと思う。 十愛病院より ⇒WG として、今は何をするかを考えるのが優先されるのではないか。 自立協から、そういうオーダーがあるというのは頭に入れておきたい。 3) 意見交換 (ワーキンググループの活動目的について) (恵和) ・ 前回 I 事例を話したらどうか、と話したが、どういうケースを出すのか悩ましい。 自分は<u>既にやりたい、と思っている人や取り組んでいる人と一緒にやりたい。</u> 先日の GH 交流会【まちで暮らすネットワーク】に来てくれている支援者の中では、なかなか、この WG に興味を持ってくれる人や事業所はいないと感じた。 【WG の目的について】 ※ (恵和) からの提案 2 つ ① <u>WG の活動目的を決めたい</u> ② 法人により、支援や法人運営についての価値観が違うところがある。

参加者(事業所)ごとの価値観の違いがあることを理解しつつ。共通の WG の目的に向かって進めた方がよいのではないかと。「お互いを知る」プロセスが重要。

(十愛病院)

- ・ おおよそ、恵和さんと同じスタンス。移行の話と定着の話は分けて考えたい。ケースを取り出して、考えていくことが必要ではないか。どういうケースを取り上げるか、すり合わせが必要。
- ・ お互いの価値観の違いを知る、という点について、地域の中での標準的な支援方法（ネットワークの作り方）として落とし込んでいるとなお良い。違いを知ることは大事。事業所の優劣ではなく、批判ではなくて違いを知るのは「あり」ではないか。病院の役割も本当は、各施設の違いを知る中で合わせて知りたい。

【まずは現場を見たらどうか】

(夢 21 ホーム)

- ・ うちのケース(県内入所施設からの移行)を見に来てほしい。CF にも入ってほしい。GH がうまくいかず、サテライトで支えている状況だが、たくさん学びがある。もし、本人の調子が悪い時に地域の他法人（たとえば恵和）に協力してもらえれば、地域で支えられる。重度訪問介護も断られ続け、事業所が見つからないが。やはり地域の中に理解者を増やしたい。

(十愛病院)

- ・ 近隣区では単身で移行した方がいる。区で区切ると、どんどん移っていくので。知っているケースだと 2 ケースあり、家の大家さんが理解あり、ただし集合住宅なので、隣家が引っ越してしまうと、オーナーにも迷惑かけてしまう課題はある。
- ・ ホームで引き受けるにしても、支援の継続性がなかなか見通せない。集合住宅のデメリットはあるが、どこかで環境調整をしていかないと移行そのものが難しい。

【制度の壁】

(恵和)

- ・ 制度的には、通過型の GH が必要ではないか。刺激をコントロールする必要があり、ハード面の重要性は大きい。

(十愛病院)

- ・ 入所施設を改造するくらいで考えていかないと、支援が難しい側面はある。

(恵和)

- ・ 行動障害の状況を変化させられるのが、今は実質、入所しかない状態と考える。移行か定着かという、GH は定着支援ということではないか。

【医福連携と、財源的な課題】

(恵和)

- ・集中的に支援をする必要がある人がいるとして、いったん場所を変えたいが、そのための準備期間が入所施設側としては必要で、その受け皿の一つに病院があると大きい。
- ・お金(財源)の問題も大きい。

(十愛病院)

- ・支え方はある程度見えているが、本当に地域移行を進めるなら、それなりの集中的な支援が必要でお金もかかる。

【人材育成がむずかしいが、支援力強化が地域定着につながる】

(恵和)

- ・法人内で取り組むだけでは、OJT がなかなか成り立たない。

(基幹)

- ・法人内で OJT は難しいのでは？ 横でつなげられるとよい。

(十愛病院)

- ・自立協の活動で SV をうまく回せると、地域全体の支援力強化になるのでは？
うちも病院事例だけど、だいたい在宅で見きれなくて入院。そうすると、環境のリセットと服薬調整くらい。環境調整までは出来切れない。
- ・家に戻ってもそのままだと、また同じことになる悪循環を変えるには、意図的な介入が必要。
- ・訪問看護、重度訪問介護くらいの準備しかサービスとして用意されていない中で、入院してリセットして安定した状態をどれだけ長く続けられるかが重要

(恵和)

- ・そういう対象者がミドルステイとか国立のぞみの菌に・・・と言っても、なかなか難しいのではないかな。
- ＜補足⇒地域と切り離された専門的支援だけでは地域移行定着は難しい？＞

4) いったん、まとめ

(自立協代表)

協力関係作りと地域アセスメントが同時進行で取り組めるようになれば良い

(十愛病院) 夢 21 のケースは現実的に WG で取り組めるのではないかな

(自立協代表) とすれば、地域移行を目的というより、地域定着に主眼を置くか？

(十愛病院) 現実的にもものすごく変わった取り組みが出来たわけではなく、
振り返った時、移行も定着も出来てきたよね、ということではないか？

(夢 21)まず見たい。いろんなケースを見る、現場を知る、本人を知る機会にしたい



現場を見る、ご本人を知る。支援者どうしがつながる方向性へ

5) 具体的な進め方について検討

(恵和) のばら園、同愛会 (いずれも入所) はどうか？

同愛会の二次相談にも関わってほしい。

てらん広場に見に行くだけでも行ってみたい。

⇒十愛病院が連絡することになった

(十愛病院) ケースを深掘りするのも必要。地域の強度行動障害に関わる支援者を
つないでいく。現場を見に行くのはどうか、

(自立協代表) 周知だけでなく、呼びかけていく過程の中で、見学をしたらどうか。

(恵和) 集中支援で3か月、今度うちの施設で男性を受け入れる。ぜひ見てほしい。
恵和の入所職員で中核的人材に手上げし、今年度に研修を受ける予定。

(十愛病院) 核になる人がいるのは地域にとって大きい。

(恵和) 中核的人材となる予定の H 氏を、エリアの中で上手く使っていきたい。

(十愛病院) ここまでの議論まとめ。 タスクとしては、

①夢 21 の地域移行の人を見に行く

②てらん広場の強度行動障害の人を見に行く(相談してみる)

(恵和) グリーンフォレストが実際に見に行って、すごいと思った、重度の方の居
住棟。自分の中でそこがとっかかり。自立課題がスタートではないか。
まずは楽さを求めるのが、強度行動障害の人には必要と思う。

(夢 21) 県内入所施設 (N 園) もウェルカムだから、見学したらどうか。
中井では全然問題なかったのに、GH では難しいところも見てほしい。

6) WG で決まったこと

★夢 21 上星川 8 月 6 日 16 時集合 (～17 時半見学する

F 田さんの地域移行定着ケース GH を見学し、本人の人となりや生活を知る。

★十愛病院 ⇒同愛会(二次相談)へ、見学や WG への参加を声掛けする

次回： 2025 年 8 月 1 4 日(木) 1 6 : 3 0 ~ 1 8 : 0 0

※まち暮ら部会コア会議 終了後／

場所：地域活動ホームゆめ ボランティアルーム